

## 平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	歴史的環境保全事業			事業コード	0243
担当課等	所属名	環境部 環境企画課	担当係名		
	課長名	環境部 環境企画課	担当者名	佐々木 歩美	電話番号

## 1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	共に生き未来を創る教育・文化	コード 4	施策	歴史を受け継ぐ文化遺産の保護・活用	コード 5
	基本事業	歴史的文化的遺産の保護と活用	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 4款 1項 4目 保存建造物等管理整備事業 (002-03)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒(開始年度 平成4年度～)		
事務事業の概要	盛岡市の自然環境及び歴史的環境の保全・創出のため、条例に基づき指定している保護庭園「一ノ倉邸」及びその施設の適切な維持管理を図る。					
根拠法令等	「盛岡市環境基本条例」及び「盛岡市自然環境及び歴史的環境保全条例」					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
昭和49年、屋敷林としての価値があるとのことから盛岡市自然環境及び歴史的環境保全条例(昭和46年制定)に基づき、保護庭園に指定した。その後、一ノ倉氏が土地建物を売却する際、市民の保存要望を受け、平成4年に盛岡市が土地建物を取得した。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
議会からは、一ノ倉邸を市の観光の名所として位置づけ、観光産業に貢献していくべきとの意見がなされている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
住宅地にある身近な自然と歴史的な建造物が融合している当施設を保存・活用していくため、必要な維持費の確保に努める。						

## 2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	市民	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 盛岡市人口	単位	人
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 一ノ倉邸の維持管理・パンフレットの作成 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 22年度と同じ	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 公開日数	単位	日
				B. パンフレットの作成	単位	部
				C. 施設修繕の実施	単位	回
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	歴史的環境の保全と活用を図るため、一ノ倉邸を適切に維持管理し、市民に周知することで、歴史的環境に触れ合う機会を増やす。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 利用者数 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	人
				B. パンフレットを持ち帰った数量(概算) 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	部
				C. 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	地域の貴重な歴史的文化的遺産を次世代に伝える	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	文化財数(国・県・市指定)(単位:件) 市保存建造物数(単位:件) 歴史・文化資源(石碑・記念碑・歌碑など)累積調査件数(単位:件)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	盛岡市人口	人	23	297,267	297,267	291,880	291,880		年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	公開日数	日	523	247	250	236	240		年度
活動 指標B	パンフレットの作成	部	4,500,000	200	300	300	300		年度
活動 指標C	施設修繕の実施	回	27	1	1	3	1		年度
成果 指標A	利用者数	人	40,560	30,151	40,000	39,235	40,000		年度
成果 指標B	パンフレットを持ち帰った数量(概算)	部	15	200	300	300	300		年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	7,293	2,329	2,199	2,303	2,199		*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	7,293	2,329	2,199	2,303	2,199	0	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	7,293	2,329	2,199	2,303	2,199		*****
	延べ業務時間数	時間	500	180	180	180	180		*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	2,000	720	720	720	720	0	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	9,293	3,049	2,919	3,023	2,919	0	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 市民の歴史的環境に触れ合う機会が増えることは結果に直結するものである。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: 盛岡市の歴史的環境は、盛岡特有の個性であり、これを守ることは市の役割といえる。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 結果の対象となるのは市民である。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 身近にある自然と歴史に触れ合うことは、歴史的文化遺産の伝承に有効であるため。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 公開日や公開方法、管理方法の見直しにより、成果の向上が期待できる。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 住宅地にある身近な自然と歴史的な建造物とが融合している当施設の保存・活用は市民からのニーズが大きく、地域の貴重な歴史的文化遺産を次世代に伝える意味でも重要であることから、事業の廃止・休止はできない。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 当施設の老朽化に伴い、今後ますます維持管理に係る経費が必要になるため、削減の余地はない。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 既に業務委託を行っており、削減の余地はない。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 誰でも自由に利用できる施設である。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など)                  ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること                  公開日や公開方法を改めて検証した上で、管理方法を指定管理者制度を取り入れるか、業務委託の形態を継続していくかを検討する。</p> <p>②改革, 改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか? それをどう克服していきますか?                  (関連部門や全庁的な調整の必要性, トップへの要望も含む)                  いずれの管理方法にしても、財政上の問題により管理費の確保が厳しいことが予想される。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり                  :                  ② 有効性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり                  :                  ③ 効率性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり                  :                  ④ 公平性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり                  :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>景観行政の一元化に向け組織機構を見直し, 22年度から保存建造物に係る事務を景観政策推進事務局に移管した。一の倉邸の景観重要建造物としての指定について検討が必要と考えられる。</p>							
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3"> <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)  <input type="checkbox"/> 改革改善を行う  <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携                 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携							
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止								
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>当面現状の管理を継続する。22年度からの組織機構見直しの効果を検証するとともに、一の倉邸について、景観重要建造物として可能かどうか、関係課で協議する必要がある。</p>									